



IHSS  
Kinki Univ.

近畿大学  
健康スポーツ教育センター研究紀要

第3巻 第1号

2004

〈原著論文〉

テニスのシングルスにおけるプレー・スタイルに関する研究……………浜田吉治郎……………1  
—関西学生男子プレーヤーの意識について— 中山 厚生

フライングディスク競技の参加者動向にみる過去25年の歩み……………大島 寛……………15

〈研究資料〉

大学教育における柔道学生の指導のあり方……………岡田 龍司……………41  
高島 規郎  
芦田 信之  
東 照正

〈集録〉

第1回 健康スポーツ教室公開講座に関する活動報告……………高島 規郎……………55

〈その他〉

近畿大学健康スポーツ教育センター研究紀要寄稿規程……………61  
近畿大学健康スポーツ教育センター研究紀要編集委員会内規……………62  
近畿大学健康スポーツ教育センター研究紀要編集内規……………62  
近畿大学健康スポーツ教育センター研究紀要論文審査内規……………63

The Research Bulletin of Health and Sports Sciences  
Volume 3, Number 1  
2004

Institute of Health and Sports Science  
Kinki University

近畿大学  
健康スポーツ教育センター研究紀要  
第3巻 第1号

2004

近畿大学健康スポーツ教育センター

# 目 次

## 〈原著論文〉

テニスのシングルスにおけるプレー・スタイルに関する研究	・ ・ ・ ・ ・ 浜田吉治郎	・ ・ ・ ・ ・ 1
—関西学生男子プレーヤーの意識について—	中山 厚生	

フライングディスク競技の参加者動向にみる過去25年の歩み	・ ・ ・ 大島 寛	・ ・ ・ ・ ・ 15
------------------------------	------------	--------------

## 〈研究資料〉

大学教育における柔道学生の指導のあり方	・ ・ ・ ・ ・ 岡田 龍司	・ ・ ・ ・ ・ 41
	高島 規郎	
	芦田 信之	
	東 照正	

## 〈集録〉

第1回 健康スポーツ教室公開講座に関する活動報告	・ ・ ・ ・ ・ 高島 規郎	・ ・ ・ ・ ・ 55
--------------------------	-----------------	--------------

## 〈その他〉

近畿大学健康スポーツ教育センター研究紀要寄稿規程	・ ・ ・ ・ ・ 61
近畿大学健康スポーツ教育センター研究紀要編集委員会内規	・ ・ ・ ・ ・ 62
近畿大学健康スポーツ教育センター研究紀要編集内規	・ ・ ・ ・ ・ 62
近畿大学健康スポーツ教育センター研究紀要論文審査内規	・ ・ ・ ・ ・ 63

# The Research Bulletin of Health and Sports Sciences

Vol. 3 No. 1

2 0 0 4

## CONTENTS

### Original investigation

Some Research on Playing Styles of Tennis Singles Players .....Yoshijiro Hamada ..... 1  
the consciousness of Kansai male students players Atsuo Nakayama

A Study on the trend of entries for Flying .....Hiroshi Oshima ..... 15  
disc Sports from 1977 to 2002

### Material

A new concept of university education for Judo students .....Ryuji Okada ..... 41  
Norio Takashima  
Nobuyuki Ashida  
Terumasa Higashi

## 近畿大学健康スポーツ教育センター研究紀要寄稿規程

1. 本誌に寄稿できるのは近畿大学健康スポーツ教育センター専任教員に限る。但し、編集委員会が必要と認めた場合は専任教員以外にも寄稿を依頼することができる。
2. 寄稿内容は、体育学研究領域における総説、原著論文、研究資料（報告）、実践報告、研究・教育上の問題提起とし完結した未発表のものに限る。
3. 原稿掲載の時期は、編集委員会において決定する。
4. 本誌に掲載された原稿は原則として返却しない。
5. 原稿は400字詰、横書原稿用紙A4版にワープロまたはインク書きとし、本文はひらがな現代かなづかいとする。外国語をかな書きする場合はカタカナとする。
6. 原稿は原則として研究・教育上の問題提起などは図表を含めて上記原稿用紙20枚以内とし、総説、原著論文、研究資料（報告）、実践報告は50枚以内とする。
7. 図・表、原稿は必ず、A4版以内の大きさとし、直接印刷原稿のとれるよう黒インクによりトレースするか、数表文字はタイプ打ち、または活字を使用すること。写真は白黒写とし、方眼紙は薄藍色めものを使用する。
8. 表・図・写真にはそれぞれ通し番号とタイトルをつけ、1枚毎に台紙または原稿用紙にはり、本文とは別に番号順に一括する。また、必ず本文の図・表挿入箇所を赤インクにより指示すること。
9. 引用文献は、原則として、本文の最後に著者名をABC順に一括し、雑誌の場合には、著者名（発行年）論文名、誌名巻（号）：ページとし、単行本の場合は、著者名（発行年）書名（版数、ただし初版は略）、発行所：発行地、引用ページ（p.またはpp.）の順に記載する。なお、引用および注記の仕方の詳細は、日本体育学会発行、体育学研究「投稿の手引き」を参照すること。
10. すべての原稿には表題、所属、氏名の欧文を必ず添付すること。但し、原著論文については200語以内の欧文抄録と、その和訳を添付すること。
11. 原稿はコピーを含め、合計3部と原稿がセーブされたフロッピーディスク1枚を提出すること。また、論文内容が主として関係する研究領域と論文の分類を明記すること。
12. 本文、そのほかに使用した欧文はすべてタイプ打ちか活字を使用すること。
13. 共著の場合には、著者名とその所属を明記すること。
14. 共著者として氏名を出すものは、その論文の全般にわたり責任をもって応答できる共同研究者に限る。
15. 原稿は近畿大学健康スポーツ教育センター研究紀要編集委員会に提出すること。
16. 本規程に反しているものは掲載しない。

17. 本規程の改定に健康スポーツ教育はセンター会議の議決（過半数）を必要とする。

付則：本規程は2002年1月1日より施行する。

## 近畿大学健康スポーツ教育センター研究紀要編集委員会内規

1. 健康スポーツ教育センター規程第7条により、健康スポーツ教育センター研究紀要編集委員会（以下委員会）を置く。運営は本規程により行うものとする。
2. 委員会は近畿大学健康スポーツ教育センター研究紀要の<英文名>（The Research Bulletin of Health and Sport Sciences）の編集に関して次の任務にあたる。
  - (1) 編集発刊に関する一切の業務
  - (2) 寄稿された論文の審査依頼、原稿の分類および原稿掲載可否の決定
  - (3) その他、編集に関する事項
3. 委員会は健康スポーツ教育センター会議により選出された委員若干名をもって構成する。委員の任期は2ヶ年とし、再任を妨げない。
4. 委員会に委員長をおく。委員長は委員の互選により選出する。
5. 論文審査のための論文査読委員は委員会の推薦により健康スポーツ教育センター長がこれを委嘱する。
6. 論文の審査規程および編集に関する事項は委員会において別に定める。
7. 委員会は査読担当者の評定に基づいて原稿の取捨を決定する。
8. 委員会の召集、開催については委員長が行う。
9. 本規程の改定には、健康スポーツ教育センター会議の議決（過半数）を必要とする。

付則：本規程は2002年1月1日より施行する。

## 近畿大学健康スポーツ教育センター研究紀要編集内規

1. 近畿大学健康スポーツ教育センター研究紀要は、年1回発行するものとし、その時期は3月1日とする。
2. 本研究紀要は掲載する論文は原則として次の通りとする。
  - (1) 総説 (2) 原著論文 (3) 研究資料(報告) (4) 実践報告 (5) 研究・教育上の問題提起など
3. 投稿者には別刷り50部を進呈する。
4. 本規程の改定には健康スポーツ教育センター会議の議決（過半数）を必要とする。

付則：本規程は2002年1月1日より施行する。

## 近畿大学健康スポーツ教育センター研究紀要論文審査内規

1. 本規程は、健康スポーツ教育センター研究紀要編集委員会規程に基づくものとする。
2. 編集委員会に提出された原稿は、寄稿者の希望する研究領域を参考として、論文査読委員の審査を受けるものとする。
3. 寄稿者あるいは共同研究者は、その論文の審査員になることはできない。
4. 担当論文査読委員は寄稿論文が健康スポーツ教育センター研究紀要寄稿規程に示された基準に沿っているか否かを検討し、掲載の適否を概要3段階によって評定し、その結果と根拠を編集委員長に報告する。
5. 論文審査の期間は原則として3週間以内とする。
6. 審査員が論文審査に困難を生じた場合には審査結果の報告書に次の事項を記入し、論文受領後1週間以内に編集委員に送付する。
  - (1) 困難な理由
  - (2) 他に論文査読委員として適当と思われる人
  - (3) その他の意見
7. 本規程は近畿大学健康スポーツ教育センター研究紀要編集規程2.の総説、原著論文、研究資料（報告）、実践報告、研究・教育上の問題提起の審査に適用する。
8. 本規程の改定には健康スポーツ教育センター会議の議決（過半数）を必要とする。

付則：本規程は2002年1月1日より施行する。

## 編集後記

今年はオリンピック・イヤーである。スポーツに携わる者にとってはことさら楽しみの多い年である。年が明けて2004年になってからは、予選を通過し出場の権利を獲得した競技の報道や選手選考の話題がだんだん増え、ますますその機運を盛り上げている。

一方、イラクでの戦争は終結したものの、いまだ元大統領を支持する残党やテロリストによって限定的な紛争状態にある。そのような治安の悪化した地域でのスポーツはいったいどうなっているのだろうかと思う。

平和の祭典として発展してきたオリンピックも政治とは無関係ではない。ミュンヘンオリンピックでのイスラム過激派によるイスラエル選手団の襲撃事件、冷戦時代の米ソによるボイコットなどはその代表例である。近代オリンピック発祥の地でもあるアテネは、オリンピックの開催に際し、空前のテロ対策を余儀なくされている。

オリンピックを待ちわびる浮ついた気持ちと、日本を取り巻く灰色の国際情勢の対比に戸惑っている最中ひとつのニュースが目に入った。日本政府は、自衛隊のイラク復興支援活動に合わせて、サッカーボール1000個とビブス3000着を、自衛隊の駐留地のサマワ市などに贈り、また2004年2月20日に国立競技場でサッカー日本代表と親善試合を行うイラク代表チームの旅費の一部を負担するというものである。スポーツは平和の象徴であることをあらためて認識すると同時に、オリンピックを心待ちにする気持ちの裏には不穏な国際情勢があることを悟った次第である。

(佐川和則)



## 執筆者紹介 (目次順)

浜田 吉治郎 教授  
高島 規郎 教授  
大島 寛 講師  
岡田 龍司 講師

## 編集委員会

委員 入川 松博  
佐川 和則  
中本 道昭  
八頭 司義久  
(五十音順)

---

近畿大学健康スポーツ教育センター紀要 第3巻第1号 2004年  
(通巻第3号)

平成16年3月20日 印刷

平成16年3月25日 発行

発行人 松本 晃 雄

発行所 近畿大学健康スポーツ教育センター

577-8502 東大阪市小若江3丁目4番1号

印刷所 近畿大学 管理部 出版印刷課

---

KINKI UNIVERSITY

---

3-4-1 Kowakae, Higashiosaka-shi, 577-8502 Japan

---

